

硬筆指定課題 評価の観点

《中学楷書》

大平恵理 書

始めに、姿勢と筆記具の持ち方を確かめます。

正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

解		文	
尊		化	
合		生	
存		活	
世		中	
切		人	

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

説明の記号

外形

注意するところ

同じ広さのあき

狭いあき

曲がり

方向

長さ

①	これから			
②	の時代は、			
	異な			

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

中

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。